

口が渴くのは病気ですか？

口の中がネバネバする、乾いた物が食べにくくなった、近ごろ虫歯がしやすい……。もしそういったことが続いたら、「ドライマウス(口腔乾燥症)」かもしれません。

◆
ドライマウスは、だ液が少なくなり、口が渴く病気のことです。だ液が少なくなると、さまざまな不都合なことが起こり、健康な生活が損なわれるようになります。



◎だ液のはたらき

「だ液」「ツバ」というと、あまりよいイメージはないかもしれませんが、私たちの健康な生活のために、なくてはならないものです。だ液には、以下のようなさまざまなはたらきがあります。

- 口やのどを潤して、物を飲み込むことや発声をスムーズにします
- でんぷんを分解して消化を助けます
- 口の中の食べカスを洗い流します
- 細菌と戦い、繁殖を防ぎます
- 歯の表面を覆って虫歯になりにくくします
- 味の物質を溶かして味覚を高めます

◎ドライマウスになると…

だ液が十分にでないために、以下のようなさまざまな症状が起こってきます。

- 乾いた物が食べにくくなる
- 話している途中で喉が詰まり、話を続けられなくなる
- 虫歯ができやすくなる
- 義歯が合わなくなる
- 口内炎ができやすくなる
- 味がわからなくなる

なぜドライマウスになるのですか？

ドライマウスは、さまざまな原因によって起こります。食生活の変化、精神的ストレスのほか、最近ではシェーグレン症候群しょうこうぐんが注目されています。

ドライマウスの主な原因



シェーグレン症候群

(くわしくは次のページで) →